

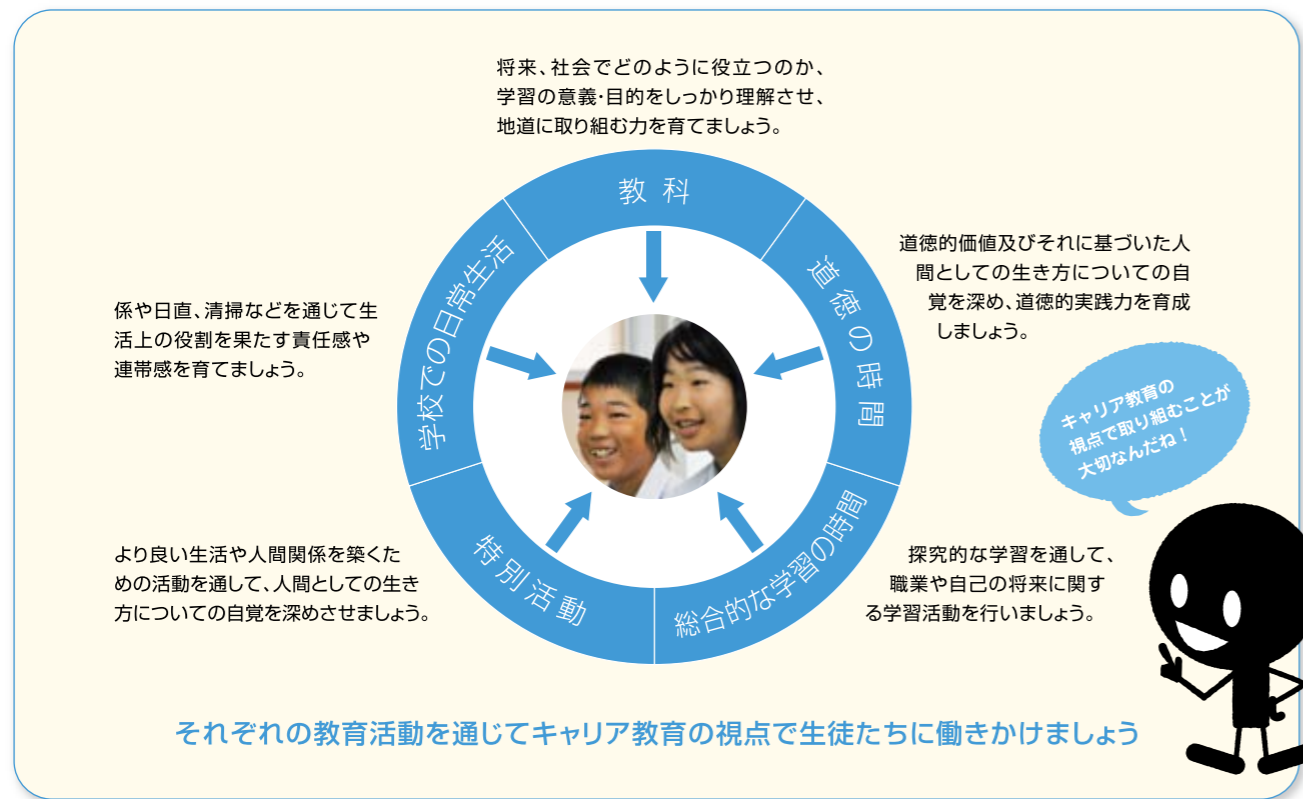
教育活動をキャリア教育の視点で「つなぐ」 それぞれの教育活動における学びや体験をつないで効果を高めよう

教育活動をつなぐ — 一人で、みんなで、学校全体で —

キャリア教育の視点をもって取り組むことにより、それぞれの教育活動をキャリア教育に「つなぐ」ことができます。また、それぞれの教育活動を「つなぐ」ことによって、キャリア教育の「種」を「芽」に育て、効果的にキャリア教育を進めることができ、それぞれの教育活動の質も高めることができます。身近なところから始めてみましょう。

■ それぞれの教育活動を通じたキャリア教育

キャリア教育の視点で生徒たちに働きかければ、教科や道徳の時間、総合的な学習の時間、特別活動・学校での日常生活といったそれぞれの教育活動を通じたキャリア教育を展開することができます。たとえば係や日直、清掃なども、生活上の役割を果たす責任感や連帯感を育てることでキャリア教育の活動になるのです。



■ それぞれの教育活動を「つなぐ」キャリア教育

「つなぐ」一言によってそれぞれの教育活動の関係に気付かせたり、流れの中に位置付けたりすることで、生徒の学びを深めることができます。「つなぐ」一言はキャリア教育の全体計画や年間指導計画の第一歩にもなります。

一人で みんなで 学校全体で
「つなぐ」を実践！

校内をつなぐ、校種間をつなぐ

■ 組織をつなぐ

教育活動全体でのキャリア教育を計画的に実施していくためには、特定の校務分掌や学年担当の教師にだけ任せのではなく、全職員で諸活動を体系化し計画的、組織的に取り組むことが大切です。

■ 小学校とつなぐ

小学校においても生き方を考えさせ、勤労観や職業観をはぐくむ様々な取組が行われています。つまり、中学校からキャリア教育がスタートするわけではありません。どのようなことを経験し、どのような力をすでに身に付けているのかを意識しながら、積み上げていきましょう。

それぞれの教育活動を「つなぐ」キャリア教育の例

一人でも
つないでいけるんだ！

一人で 一人一人の学級担任が、それぞれつなぐことができるキャリア教育

たとえば 道徳の時間と特別活動をつなぐ

例えば目標達成に向かってやり抜くことの重要性について指導する場合でも、道徳的価値を自覚させる道徳の時間と、なす事によって学ぶ特別活動では、その方法には違いがあります。「共通する身に付けさせたい資質や能力」について、道徳の時間、特別活動それぞれの特質を生かし、それらをつなぐことで、より効果的になるのです。また、学級担任として、それぞれの指導の効果を確認しながら、個に応じた指導に発展させることもできるようになります。

道徳の時間：理想の実現を目指して自己の人生を切り拓く

主人公は、あこがれだった看護師になったけれど、予想以上の厳しさにくじけそうになったんだ。理想どおりにいかない現実に悩んでいるのかな。でも、人や社会の役に立つことは素晴らしいことだよな。僕にできることは何だろう。



つなぐ一言

この間の道徳の時間を覚えているかい。一生懸命取り組みれば、主人公の気持ち分かるかもしれないよ。がんばってみよう。

特別活動：校内大掃除

年に一度の大掃除か。よし、しっかりやってみよう。同じ班のメンバーから「ありがとう」って言われたぞ。人の役に立って、こういうことなのかな。隅々まできれいになるって、気持ちがいいものだな。



個別指導へつなぐ一言

〇〇君、この前の大掃除、がんばっていたね。頼りになるな。

僕も案外、やればできるんだな。

たとえば 各教科と道徳の時間や特別活動をつなぐ

今回の学習指導要領の改訂では、すべての教科等で道徳の時間との関連を図ることが求められています。これらに加えて実生活と結び付けることによって、教科の学習がより分かりやすくなるなどの効果があります。また、何のために学ぶのかを考える機会にもなり、学ぶ意欲が向上したという報告があります。

理科：磁石の性質

磁石の性質って面白いなあ。



つなぐ一言

この性質を生かした乗り物が開発され、実用化に向けた実験が繰り返されていることを知っているかな。

つなぐ一言

リニアモーターカーだ。理科って、私たちの生活にこんなにかかわっているんだなあ。

つなぐ一言

リニアモーターカーの開発は何十年も続けられているんだよ。みんなの生活は多くの人たちの努力によって支えられているんだね。

道徳の時間：人々の支えによって自分があることに感謝する

普段何気なく使っている物すべてが、たくさんの人たちの努力と協力の結晶なんだなあ。私も未来の子どもたちに感謝されるような仕事をしたいな。



特別活動へつなぐ一言

協力が大切なのは委員会活動でも同じだね。みんなの活動ぶりが楽しみだな。

みんなで 複数の教師が連携してつなぐキャリア教育

たとえば 各教科等をつなぐ

中学校には、子どもたちが自分の生まれてから今までを振り返ったり、今の自分を見つめ直したり、将来の自分の姿を描いたりする学習活動が数多くあります。教師がこれらを理解し、それぞれの内容を関連させて指導することで、より深く自己を理解させることができ、自らの将来を積極的に展望させることに発展させることができます。また、教師が、他教科等でのような学習が行われているのを知ることが、自分の担当教科の指導にも良い刺激となり、深みのある指導が可能となります。

国語：社会生活の中から課題を決め、様々な方法で情報を集めて自分の考えをまとめ、スピーチをしたり文章で発表したりする。

社会（公民的分野）：私たちと政治

今回は、一人一人の人間を尊重することが民主主義の基礎だということ学んだね。ここで皆さんが国語科で発表した社会生活の様々な課題を思い出してみよう。それらの課題の多くが、基本的人権とかかわっていることが改めて分かるね。これから大人になる皆さんは、自分自身も含め一人一人を尊重しながら、様々な方法で社会に参画し、より良い社会づくりを目指してほしいな。

美術：自画像

近い将来、皆さんは、大人として社会に参画し、社会を作っていく立場になるね。その方法は、家族や地域社会の一員としてはもちろん、政治に参加したり職業に就いたり、数多くある。この点については、社会科で学習したり、学級活動でも話し合いをしたね。覚えているかな。さて、ここでもう一度自分自身を振り返ってみよう。これまでのいろいろな経験はもちろん、将来への期待や展望も全部含めて「今の自分」だよな。さあ、それらを色と形で表現してみよう。

学校全体で 全体計画等に基づいてつなぐキャリア教育

中学校において、このように各教科等の学びをつなげるために、キャリア教育の全体計画・年間指導計画を作成し、定期的に改善を図りましょう。